平成２９年度　７月全体集会

今日は、みなさんに２つの話をします。

１つめは来年度の話ですが、「定められた授業時間数を確保する」ために全ての県立高校で来年度から大幅に授業時間数を増やすことになりました。

本校でも具体的な対応を検討中ですが、例えば行事を減らして授業時間を増やす、夏休みや冬休みを短くして授業日を増やす、１コマの授業時間を５０分から５５分に伸ばすということなども考えられます。他の学校では体育祭や球技大会を廃止して授業日にするという例もあるようですが、西高の伝統は文武両道であり、勉強はもちろん部活動や学校行事も大切にしたいと考えています。いずれにしても、来年度から行事や日課について何らかの変更があることを承知しておいてください。

２つめはいい話です。先日、外部の方から私宛に２通の手紙が届きました。ここでみなさんに紹介します。

１通目は大庭在住の方からです。６月１８日、辻堂駅を朝７時発の東海道線下り電車に乗ってきた「ＦＵＪＩＮＩＳＨＩ」のジャージを着たサッカー部の生徒さん３名が、茅ヶ崎駅から乗ってきた高齢のご夫婦に進んで席を譲ってくれました。見ていて大変気持ちのいいおこないでした。という手紙です。

２通目は葉山町在住のご婦人からです。７月９日、Ｙ高ＯＢとして横浜スタジアムへ応援に出かけた時のことです。藤沢西高校野球部の生徒さん３名が、礼儀正しく「失礼します」と言って隣に座って来られました。Ｙ高がリードされているので「Ｙ高も最近は初戦で負けることが多いから・・・」とこぼすと、「でも９回裏まであるからわかりませんよ」と励ましてくれました。そして彼らが席と立つ時「熱中症にならないように水分を取ってくださいね」と優しい言葉をかけてくれました。なんて爽やかな青年でしょう。短い時間のご縁でしたが、忘れられない思い出となりました。という手紙です。

「人に優しくしよう」「良いおこないをしよう」という気持ちが誰にでもあるものです。しかし、それを実際に言葉にしたり行動したりすることはなかなか難しいことです。今回、サッカー部と野球部の生徒が勇気を持って実行したことで、相手の方が学校に手紙を書いてくれるほど喜び、そして感謝してくださいました。

みなさんも、心の中で思っていることを、勇気を持って実際に言葉にしたり行動に移したりしてみましょう。

これで校長の話を終わります。